

2026 年度

(2026 年 4 月開講・10 月開講)

東京女子医科大学附属足立医療センター

看護師特定行為研修

募 集 要 項



東京女子医科大学附属足立医療センター

1. 看護師特定行為研修の理念

東京女子医科大学附属足立医療センターの理念は『センターは、「至誠と愛」の心をもって人に接し、最善の医療を実践し、社会に貢献するとともに全人的医療人を育成すること』である。この理念のもと、高い実践力を持ち臨床看護の発展ならびに地域医療に貢献できる看護師を育成する。

2. 看護師特定行為研修の目的と育成目標

（１）目的

1. 高度医療及び地域医療において対象の状態を迅速かつ包括的にアセスメントし、的確に判断できる能力を養う。
2. 対象の安心や安楽に配慮し、倫理的かつ安全に特定行為を実践できる能力を養う。
3. 多職種連携において、効果的な医療が提供できるよう協働できる力を養う。

（２）育成目標

看護師が特定行為研修を受講することにより、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識・技術・態度を身につける。これにより、医療現場において、疾患や病態の変化を包括的にアセスメントし、特定行為を安全に実施することでチーム医療における他職種との協働を行いながら患者のニーズに対応することが可能となる。

3. 開講する看護師特定行為研修コース

（１）研修の申請を決定した理由

当院は、大学病院の機能を有し、高度急性期医療を提供する病院としての役割を担っている。現在、認定看護師、診療看護師（クリティカル領域）が在籍している。急性期医療の安定的な医療提供のニーズに対して、看護師が特定行為研修を修了することにより、多職種連携が推進され、患者及び家族、地域住民の健康及び生活の質向上につながることが期待されるため。また、医師の負担を軽減しつつ医療の質を向上させるためにも、看護師の技術向上のためにも、特定行為研修は必須と考える。

（２）申請領域別パッケージ研修を選択した理由

① 在宅慢性期領域

当院は高齢者が多い地域であり、入院患者の平均在院日数は8.8日間、平均在宅復帰率が97%であることから、その多くが退院支援を必要とする。今後ますます進む高齢化に伴い複雑化かつ多様化する患者・家族のニーズに対して複合的かつ迅速に対応できる特定看護師の養成が求められることから在宅慢性期領域パッケージを選択した。

② 術中麻酔管理領域

当院は予定手術だけでなく緊急手術件数も多い周手術期においては、医師との連携（タスクシフト/シェア）により、より迅速かつ安全に治療を進めることが求められるだけでなく、患者及び家族に対する精神的配慮もできる特定看護師の養成が必要となる。これにより周術期医療の提供体制を強化することが可能となるため術中麻酔管理領域を選択した。

③ 救急領域

当院は周辺地域においては高齢の患者が多く、施設には3次救急医療としての機能があることから、救急医療の需要が高い。救急医療、高度急性期医療は地域の患者や住民の生活の質を左右することが予測され、より多くのニーズに対応するためには、様々な場面で対応できる特定看護師の育成が求められるため救急領域パッケージを選択した。

（3）申請区分を選択した理由

周辺地域においては糖尿病罹患の患者が多く、大学病院としての機能があることから、糖尿病の予防、早期発見、治療の需要が高いため「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」を、高齢の救急医療を必要とする患者には、脱水や低栄養の患者も多いため「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を選択した。また、入院、転院患者の中には、すでに褥瘡を有している者も多いため「創傷管理関連」のニーズは高い。今後、一層大学病院としての役割が求められることが見込まれ、特定看護師の必要性は増すと考えられる。

＜ 領域別パッケージ研修 ＞

- ・在宅・慢性期領域
- ・術中麻酔管理領域
- ・救急領域

＜ 特定行為区分 ＞

- ・創傷管理関連
- ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ・血糖コントロールに係る薬剤投与関連

4. 募集する特定行為区分および区分の定員

1) 前期コース(4月開講)

受講定員 (名)	領域パッケージ研修、区分別科目
1	在宅・慢性期領域パッケージ
1	術中麻酔管理領域パッケージ
1	救急領域パッケージ
1	創傷管理関連
1	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
1	血糖コントロールに係る薬剤投与関連

2) 後期コース(10月開講)

受講定員 (名)	領域パッケージ研修、区分別科目
1	在宅・慢性期領域パッケージ
1	術中麻酔管理領域パッケージ
1	救急領域パッケージ
1	創傷管理関連
1	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
1	血糖コントロールに係る薬剤投与関連

5. 受講者の要件

受講者は、以下の要件をすべて満たしていること。

- ① 日本国内における看護師免許を有していること
- ② 受験申請時点において、看護師免許取得後5年以上程度の実務経験を有していること
- ③ 実習までに、看護職賠償責任保険に加入すること
- ④ 実習までに、4種ウイルス（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）抗体検査を実施し、基準に満たない者は、予防接種を実施すること
- ⑤ 通算3年以上の専門分野（在宅・慢性期領域、周術期領域、集中治療領域）における臨床経験があること
- ⑥ 院外受講者は、日本看護協会が示す看護実践能力習熟段階レベルⅡ相当の者
- ⑦ 院外受講者においては、所属長の推薦があること

6. 履修の免除

共通科目の履修の免除は、出願時に既修得科目等履修免除申請書に、当該特定行為研修の修了証若しくは修了見込証明書(任意様式)、又は履修を証明できるもの(任意様式)を添えて申請する。

履修免除については、特定行為管理委員会で審議する。

7. 受講審査

1) 出願期間

2025 年 12 月 22 日から 2026 年 1 月 23 日 (当日消印有効)

提出先：〒123-8558 東京都足立区江北 4 丁目 33 番 1 号

東京女子医科大学附属足立医療センター 看護部

*封筒の表に「特定行為研修受講申請書在中」と朱書きで明記し、
必ず「郵便書留」で送付してください。

2) 1 次審査 (2026 年 2 月 6 日(金))

① 審査方法

書類審査

3) 2 次審査 (2026 年 2 月 28 日(土)午前中)

① 審査方法

面接、小論文

② 合否判定 (合格発表)

2 次審査の結果は 2026 年 3 月上旬までに合否結果を郵送します。

8. 受講手続

1) 受講手続については、合格通知時にご案内します。

2) 納付金

(1) 入学金・授業料

領域パッケージ研修、区分別科目	料金
在宅・慢性期領域パッケージ	530,000
術中麻酔管理領域パッケージ	630,000
救急領域パッケージ	655,000
創傷管理関連	460,000
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	450,000
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	425,000

(2) 納付金は一括です、振り込み手数料はご負担をお願いします。

(3) 一旦納めた納付金は原則として返還しません。

(4) 履修免除となった場合授業料は変更となります

9. 研修スケジュール

1) 前期コース 2026 年 4 月から 2027 年 3 月 (12 ヶ月間)

日程	内容
2026 年 4 月上旬	開講式、オリエンテーション
4 月～ (4 ヶ月間)	共通科目 (e ラーニング、演習・実習)
2026 年 9 月～ (3 ヶ月間)	区分別科目 (e ラーニング、演習・実習)
2026 年 12 月～ (3 ヶ月間)	臨地実習
2027 年 3 月下旬	閉講式

2) 後期コース 2026 年 10 月から 2027 年 9 月 (12 か月間)

日程	内容
2026 年 10 月上旬	開講式、オリエンテーション
10 月～ (4 ヶ月間)	共通科目 (e ラーニング、演習・実習)
2027 年 3 月～ (3 ヶ月間)	区分別科目 (e ラーニング、演習・実習)
2027 年 6 月～ (3 ヶ月間)	臨地実習
2026 年 9 月下旬	閉講式

10. 修了要件

次の要件をすべて満たし、指定研修機関の特定行為研修管理委員会において修了が認められること。修了者には、指定研修機関より研修修了証を発行する。

- 1) 共通科目をすべて履修し、規定の試験に合格すること。
- 2) 共通科目終了後、区分別科目を履修し、規定の試験に合格すること。

※なお、本研修修了者には修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

11. 個人情報の取り扱いについて

学校法人東京女子医科大学における個人情報保護基本方針に則り、個人情報の適切な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願及び受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等に必要となる業務に限り使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

12. お問い合わせ先

〒123-8558

東京都足立区江北4丁目33番1号

電話：03-3857-0111(代表)

E-mail：adachi-tokutei.ao@twmu.ac.jp